

「留学生のための地震対策ミニガイドブック完成報告会」開催の報告

2018年1月24日（水）、長崎大学（坂本キャンパス）グローバルヘルス総合研究棟大セミナー室にて、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラムに在籍する2年生が中心となって作成した「留学生のための地震対策ミニガイドブック」の完成報告会が開催されました。



本プロジェクトは、グローバルリーダーとしてのコミュニケーション能力を高める授業（コミュニケーションスキル実習）の中で起案され始めました。地震の経験や知識が乏しく、日本語の速報やニュースが十分に理解できない留学生が安心して生活を送ることができるよう、地震対策の一助となることを目的としています。その提案の意義が認められ、「長崎大学 平成29年度夢への架橋チャレンジ・プロジェクト」に採択され、その支援のもと、授業活動の一環として1年間ガイドブック作成を行ってきました。



完成報告会では、コミュニケーションスキル実習を担当されている限上麻衣助教が本プロジェクトの概略を説明し、Teerachat Sae-heng が学生を代表してガイドブックの紹介及び今後の展望についての説明を行いました。河野学長をはじめとする長崎大学の関係者に加え、長崎市役所文化観光部国際課の方々など学内外合わせて50名ほどが出席し、本プロジェクトと完成したガイドブックについて意見交換する時間も設けられ、大変有意義な時間となりました。また、各メディアの取材もあり、本プロジェクトの成果を披露する良い機会となりました。



今後は、本ガイドブックをより多くの人に知ってもらうための活動や、さらに有用な情報を盛り込んだガイドブックの作成に取り組み、留学生の危機管理への意識向上に貢献していきたいと考えております。